

読書活動推進へ向けた取組

1 学校の概要（令和4年5月1日現在）

- (1) 所在地 福島県二本松市下長折字真角13番地
- (2) 学級数・生徒数 学級数6 生徒数95名
- (3) 学校図書館の蔵書数 6,192冊

2 取組内容

(1) 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境への一層の充実へ向けた取組

①図書館入り口への掲示

図書館入口に新刊案内や図書に関連するニュースを掲示し、図書館へ足を運ぶ動機づけとしている。



②雑誌の分架



逐次刊行物の中でも特に生徒に人気のものは、生徒が授業前後の移動でよく通る保健室前廊下に分架している。アニメ関連雑誌やファッション雑誌、料理雑誌等が人気で、バックナンバーを探しに図書館へ来る生徒もいる。教員も手にとることが多い。

③生徒の手作りPOP

図書委員への夏休みの課題としてPOP作成を課しており、そのPOPを本の紹介として活用している。図書委員会の予算で簡易な額縁などを準備し、目立つように工夫して飾っている。



④癒やしの音楽



司書が厳選したクラシックやジャズを静かな音量で流している。読書にいざなわれるような雰囲気醸し出しており、生徒・教員にも好評である。

(2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

①夏・冬休み前 一斉貸出

長期休業前には、国語の授業を活用して全員必ず本を借り、その本をもとに読書レポートを書いたり、POPを作成したりしている。司書が蔵書を机の上に見やすく平置きして並べ、楽しく本を選べるよう工夫している。

②授業や課題研究での活用

国語科を中心に授業で図書館を活用している。授業で扱った教材に関する本の展示や貸し出しなど、学習内容の理解を深める手助けとなっている。また3年生の「総合的な探究の時間」の課題研究においても、図書館の資料を活用している。

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

①地域関連本コーナー

郷土の文化史に関する資料が豊富にそろっており、地域関連本コーナーとして開架している。



②図書委員会 選書活動

冬季休業中に、図書委員代表生徒による地元書店での選書活動を実施している。他の生徒の目線に立って、実際に学校図書館に並ぶ本を選んだことは、生徒にとって貴重な体験となった。

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組

①「PRB 4校リーグ」(POP Recommend Books)



「POPでキミの『イチオシ』の本を紹介しよう!」と題して、安達・二本松工業・本宮・安達東の4校の図書委員でPOPを作成した。このうち各校代表5人の作品を展示している。

②本のリクエスト承ります

学校司書が地域の図書館に定期的に赴き、書架の借り入れを行っている。調べ学習で学校の図書館に探している本がなく、司書が地域の図書館から借りてきたこともある。生徒や教員からのリクエストがあれば、県立図書館等も活用し様々な資料を準備・提供する。